

## 南アフリカ

### 主要データ

国名〔英名〕	南アフリカ共和国〔Republic of South Africa〕
面積(km <sup>2</sup> )	1,219,090
海岸線延長(km)	2,798
人口(百万人)	49.1
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	40.2
GDP(百万US\$)	276,764
一人当りGDP(US\$)	5,685
一人当り銅使用量(kg/人)	1.8
主要鉱産物：鉱石(千t)	銅(141.8千t)、鉛(46.4千t)、亜鉛(29.4千t)、ニッケル(31.7千t)、金(220.1t)、銀(75.2t)、プラチナ(148.6t)、アンチモン(3,674t)、クロム(10,300千t)、マンガン(6,807.1千t)、チタニウム(850.0千t)、ウラン(540t)
主要鉱産物：地金(千t)	銅(94.9千t)、鉛(59.0千t)、亜鉛(87.0千t)、ニッケル(31.7千t)、アルミニウム(1,083.6千t)、コバルト(250t)、ステンレス(528.3千t)
鉱業管轄官庁	鉱物・エネルギー省(DME:Department of Minerals and Energy) 注)2009年5月に Mineral Resources 部門と Energy 部門と分離
鉱業関連政府機関	地質調査所(Council for Geoscience)
鉱業法	鉱物・石油資源開発法 2002(The Mineral and Petroleum Resources Development Act 2002)
ロイヤルティ	2009年から施行予定
外資法	鉱業はDMEの認可が必要
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	試掘および採掘事業による環境影響評価(鉱物・石油資源開発法 2002)
鉱業公社	NA
鉱業活動中の民間企業	Anglo Platinum(南ア)、Impala Platinum(南ア)、Lonmin(英)、Gold Fields(南ア)、Harmony Gold(南ア)、AngloGold Ashanti(南ア)、Anglo American(英)、Rio Tinto(英・豪)、Samancor(南ア)他
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	資源ナショナリズムについて、鉱山大臣が鉱山の国有化は行わないことを明言した。
2008年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力供給障害等による、鉱業生産の落込み</li> <li>・景気後退による減産及び人員整理の実施</li> <li>・ロイヤリティ法案実施の延期(2010年3月まで)</li> <li>・2008年の鉱山生産指数が前年比7.5%の減と2000年以降最低水準(特にPGM-3.8%、金-2.2%、ダイヤ-1.7%)</li> </ul>

### 1. 鉱業一般概況

南アフリカ共和国(以下『南ア』とする)は、多くの鉱物資源が賦存し、金、白金族金属(PGM)、クロム、マンガンについては世界一の資源量を誇る。それぞれのシェアは、金40.1%、白金族金属87.7%、クロム72.4%、マンガン80%である。また、PGM、クロム、バナジウムの鉱石生

産は世界一であり、世界における生産シェアは、金10.3%、白金56.7%、クロム42%、マンガ14.6%、バナジウム41%となる(2007年)。

南ア鉱業は、国内経済において主要産業であり、2007年において、鉱業の総付加価値額(Gross Value Added)は国内経済全体の7.7%を占め、1,356億ランドを計上し、また、総固定

資産投資額の8.9%、総輸出額の30.2%を占め、産業雇用人口は49万人を擁している。鉱業分野における鉱種別の労働者の内訳は、主にPGM37.6%、金34.1%、石炭12.2%となっており、金、PGMの分野で7割を占めている。

2007年の鉱業における一次鉱産物の総生産額は、アジア、特に中国を中心とした金属需要の高まりによる金属価格の上昇により、前年比12.2%増の2,239億ZAR(南ア通貨Rand 2006年:1,995億ZAR)となった。総輸出額の上位3位は、PGMが40.8%(660億ZAR)で第1位、次いで、金が22.2%(360億ZAR)で第2位、石炭が15.1%(244億ZAR)で第3位で、主な輸出先は欧州86.7%、環太平洋地域8.5%となっている。

2007年は好調であったが、2008年には、電力不足、世界的な景気後退等により状況が一変した。2008年の鉱山生産指数は前年比7.5%の減と2000年以降最低の水準となった。特に、PGM、金、ダイヤモンドの生産指数が悪化し、それぞれ前年比-3.8%、-2.2%、-1.7%となった。PGM、金の分野では多くの雇用を抱えており、雇用状況が悪化することになった。

2008年1月の大停電をもたらした電力供給障害の影響により、電力不足による停電が頻発し、鉱業においてもその影響を受け、必要な電力の10%が削減されたため、2008年の鉱業生産は減少した。電力の供給を行っている南アの電力会社Eskomは、この問題に対応するため合金鉄生産各会社への電力供給量10%の削減は継続する必要があるとしている。また、南アから安価な電力の供給を受けてきた南部アフリカ諸国の鉱業にも影響を及ぼした。2009年2月に、電力供給障害の問題について、エネルギー鉱山大臣が2018年までに解決すると発言している。

2008年半ばからの世界的な経済危機により、金属需要が減退し、金属価格が下落した。それに対応するため各鉱山会社では減産や雇用削減を行っており、特にAnglo American及びAnglo Platinumでは19,000人、プラチナ大手のLonminでは5,500人、金大手のGold Field 10%等の人員削減が発表された。

## 2. 鉱業政策の主な動き

2009年4月に大統領選挙が行われ、翌5月に、

Zuma 新大統領の下、鉱業大臣に Susan Shabangu 女史が就任し、今後の鉱業政策として、鉱山保安策の重視、鉱業憲章(Mining Charter)で定めるBEE政策の見直しを重点的に行い、また、国営鉱山企業の設立可能性の調査検討を行うことを表明している。

BEE政策上、鉱業の黒人(BEE)資本参加比率を、2009年までに15%にすることが義務付けられており、今後のBEE政策の動きを注視する必要がある。

また、最近、同国の鉱業国有化の要求が強まっている。南ア与党のアフリカ民族会議(ANC)は、ANC設立時の自由憲章上に鉱業国有化が盛り込まれていることから鉱業国有化を要求し、また、労働組合側からは、不況による鉱山閉鎖や雇用削減の動きに対応するため、鉱業国有化により雇用の場を守り、外資が吸い上げている利益を還元したいこと等が、鉱業国有化要求強化の背景にある。Shahangu大臣は、外国人投資家に対し、こうした動きへの懸念があるものの、鉱業国有化の要求には応じないことを表明している。

2009年6月に、産金会社側と同国最大の全国鉱山労働組合(NUM: National Union Mine Workers、組合員317千人)の賃上げをめぐり、スト回避へ調停交渉が行われた。会社側が7%の賃上げを提示したが、組合側は15%の賃上げを要求し拒否、7月に再交渉し会社側が8~10.5%を回答し、当面ストライキの懸念は後退している。直近の同国のインフレ率は約8%であり、組合側の反応はさまざまであり、今後、大規模ストライキ突入となるかは予断を許さない。

電力供給障害は、電力設備が40年以上前のもので極めて老朽化しているにも係わらず、緊縮財政のため設備投資を行ってこなかったことも一因で、その後の経済低迷、電力需要の低下により、停電は免れているが、電力供給不足の構造的な問題は解決されておらず、経済が回復すれば停電の再発が懸念される。現在、発電所の建設を始めているが、完成は2011~12年の予定。原子力発電所建設については、2005年に建設を計画していたが、2008年末に資金不足のため計画

を凍結、その後、新大臣は計画の再開を表明している。

鉱山保安については、2008年11月に新鉱山保安法が制定され、鉱山事故の際の鉱山の一時閉鎖等、対策はほぼ整備されているが、不法鉱山については、取り締まる法律がなく、2009年6月に不法鉱山の取り締まり対策を含んだ鉱業

法改正が検討されている。

その他、同国では、HIV/AIDSの問題が深刻で、国民の1/5～1/4がHIVキャリアといわれており、企業で、せっかく育てた従業員が、働き盛りの時期にHIVを発症して働けなくなるという問題が生じており、HIV対策も急務となっている。

### 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

#### (1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 1. 南ア：金属鉱石生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	120.1	158.0	141.8	-10.25
鉛	48.3	41.5	46.4	11.81
亜鉛	34.4	31.1	29.4	-5.47
ニッケル	41.6	37.4	31.7	-15.24
プラチナ(t)	167.9	155.7	148.6	-4.56
金(t)	275.1	254.7	220.1	-13.58
クロム	7,428.5	7,089.0	10,300.0	45.30
鉄	41,326.0	41,559.0	NA	NA
アンチモン	4,443.0	3,436.0	3,674.0	6.93
マンガン	5,212.8	5,340.7	6,807.1	27.46
チタン	850.0	850.0	851.0	0
ウラン	534.0	539.0	540.0	0.19

(出典：WMSY 2009、鉄：SSY 2008)

#### (2) 主要非鉄金属地金生産量

表 2. 南ア：金属地金生産量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	102.1	115.7	94.9	-17.98
鉛	65.4	59.0	59.0	-
亜鉛	90.0	101.0	87.0	-13.86
ニッケル	41.6	37.4	31.7	-15.24
コバルト(t)	257.0	307.0	250.0	-18.57
アルミ	887.3	898	1,083.6	20.67

(出典：WMSY 2009)

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3. 南ア：金属地金消費量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅	83.0	82.8	88.3	6.64
鉛	73.6	75.0	71.2	-5.07
亜鉛※	85.6	99.1	91.2	-7.97
ニッケル	53.5	44.0	44.1	0.23
アルミ	264.0	279.4	409.2	46.46

(※亜鉛の実績は南アとナミビアを合計したものである。)

(出典：WMSY 2009)

(4) 主要非鉄金属輸出力

表 4. 南ア：精鉱中含量・地金輸出力

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸出相手国
銅鉱	30.3	59.2	67.2	13.51	
銅地金	24.7	17.6	12.2	-30.68	
鉛地金	2.2	7.9	4.0	-49.37	韓国、ベルギー、中国
亜鉛地金	7.6	8.2	4.8	-41.46	
鉄鉱	26,161.0	30,336.0	NA	NA	
アルミ地金	601.3	625.2	597.9	-4.37	日本、韓国、インド

(出典：WMSY 2009、鉄：SSY 2008)

(5) 主要非鉄金属輸入量

表 5. 南ア：精鉱中含量・地金輸入量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸出相手国
銅鉱	14.3	13.3	8.9	-33.08	
銅地金	5.6	5.9	5.6	-5.08	
鉛地金	10.4	17.6	16.1	-8.52	豪州、中国
亜鉛地金	7.2	6.3	9.1	44.44	ケニア、タンザニア
ボーキサイト	37.4	56.8	43.0	-24.29	
アルミナ	1,776.3	1,747.3	1,564.9	-10.44	

(出典：WMSY 2009)

#### 4. 鉱山・製錬所状況

表 6. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	2008年生産量 (千t)
Rustenburg 鉱山	Anglo Platinum (100%)	プラチナ(t)	21.8
		パラジウム(t)	10.9
		ロジウム(t)	2.8
		金(t)	0.5
		ニッケル	2.9
		銅	1.5
Amendelbult Section 鉱山		プラチナ(t)	14.3
		パラジウム(t)	6.8
		ロジウム(t)	1.8
		金(t)	0.4
		ニッケル	2.2
		銅	1.1
Impala プラチナ鉱山	Impala Platinum Holdings Ltd (100%)	プラチナ(t)	32.5
		パラジウム(t)	13.6
		ロジウム(t)	3.9
		ニッケル	6.9
Lonrho Platinum Division 鉱山	Lonmin Plc (82%) Incwala Resources(Pty) Ltd (18%)	プラチナ(t)	20.5
		パラジウム(t)	9.4
		ロジウム(t)	2.8
		金(t)	0.5
		ルテニウム(t)	4.3
		イリジウム(t)	0.9
		ニッケル	3.1
銅	1.9		
West Wits 鉱山	AngloGold Ashanti Ltd (100%)	金(t)	30.5
Vaal River 鉱山		金(t)	30.4
Kloof Division 鉱山	Gold Fields Ltd (100%)	金(t)	25.5
Driefontein Conslidated 鉱山	Mvelaphanda Resources Ltd (15%)	金(t)	28.9
Free State 鉱山	Harmony Gold Mining Co Ltd (100%)	金(t)	12.4
Black Mountain 鉱山	Anglo American Plc (74%) Exxaro Resouces Ltd (26%)	鉛	64
		亜鉛	38
		銅	2.5
Palabora 鉱山	Rio Tinto Plc (57%) Anglo American Plc (17%) その他 (26%)	銅	85.1
Sishen 鉱山	Kumba Iron Ore Ltd (74%) Black Economic Empowerment Co (26%)	鉄	34,039

(出典：Metal Economics Internet Services)

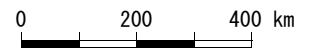


図 1. 南アの主要鉱山・製錬所位置図

表 7. 製錬・精製所生産状況

製錬・精製所名	権益所有企業(権益：%)	鉱種・形態	2008年生産量 (千 t)
Palabora 銅製錬所	Rio Tinto Plc (58%)	銅	75.9
Palabora 銅精錬所	Anglo Base Metals (17%) African Rainbow Minerals (1%)	銅	75.9
Rstenburg Base Metals 精錬所	Anglo Platinum Mines (100%)	銅	11.0
		コバルト	0.2
Rstenburg Precious Metals 精錬所	Anglo Platinum Mines (51%) Jonson Matthey Plc (49%)	ニッケル	15.5
Impala Refining Services PGM 精錬所	Impala Platinum Holdings Ltd (100%)	ニッケル	7.5
Impala (Springs) Precious Metals 精錬所		ニッケル	6.4
		銅	9.0
		コバルト	0.1
Wonderkop (Xstrata) フェロクロム精錬所	Xstrata Alloys Div (80%) Merafe Ferrochrom and Mining Ltd (20%)	フェロクロム	400.0
Purity (Rustenburg) フェロクロム精錬所		フェロクロム	302.0
Lydenburg フェロクロム精錬所		フェロクロム	283.0
Zincor (Springs) 亜鉛精錬所	Exxaro Resources Ltd (100%)	亜鉛	87.0
Hillside アルミ製錬所	BHP Billiton Plc (100%)	アルミニウム	688.0
Bayside アルミ製錬所		アルミニウム	123.0

・この他に詳細は不明であるが、フェロクロム精錬所として Samancor の Middleburg、Meyerton、フェロマンガンを精錬所として Manganese Metals の Nelspruit、Assmang の Cato Ridge が存在する。

(出典：Raw Material Data)

## 5. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

表 8. 南アの日本への精鉱・地金輸出量

(単位：千 t)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
アルミニウム地金	161	182	210	15.4
金地金(kg)	-	-	2,000	-
クロム鉱石	18	37	49	32.4
クロム地金(t)	81	46	70	52.2
五酸化バナジウム(t)	160	140	140	0.0
コバルト地金(t)	80	40	52	30.0
粗銅及びアノード(t)	-	491	-	-
チタン鉱石	8	10	9	-10.0
鉄鉱石	-	6425	6,580	2.4
銅鉱石	-	-	6	-
銅地金(t)	-	320	127	-60.3
ニッケルマット(kg)	100	-	N. D	-
ニッケル地金(t)	5,843	7,822	5,340	-31.7
白金族金属(kg)	107,776	110,408	105,935	-4.1
フェロクロム	464	545	469	-13.9
フェロバナジウム(t)	3,080	3,217	2,820	-12.3
マンガン鉱石(t)	642,237	722,648	679,059	-6.0
モリブデン鉱石	-	57	19	-66.7

(出典：日本貿易月表 2008.12)

### (2) 日本企業による投資状況等

住友商事㈱が約 300 億円を投じ、鉄鉱石、マンガン、クロム資源会社 Assmang の権益を追加取得した。これにより、Assmang 社への持分権益は約 8%から約 13%に増加し、投資総額は、約 450 億円となり、日本企業による同国への投資額としては最大規模となった。

### 6. その他トピックス

特になし

(2009.07.22/ロンドン事務所 竹谷 正彦)